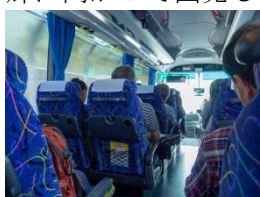




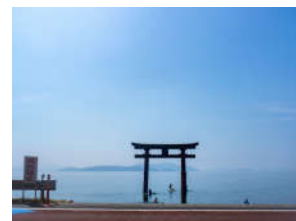
針江生水の郷・丸子船の館見学記録

- 1.日時 2018年8月2日(木)
- 2.天気 晴れ
- 3.集合 JR 島本駅／阪急水無瀬駅 8時20分／30分
- 4.参加者 19名 大石、叶、小松、日景、万井、山下、浅野、乾、金戸、上條、児玉、坂根、荘村、西井、秦、原、藤井、李三、元田

今回の例会はチャーターしたバスで目的地を回るもの。予定通り8時30分に最初の目的地である針江 生水の郷に向かって出発した。想定外に立派なバスで乗り込んだ途端“いいわ”の声も。

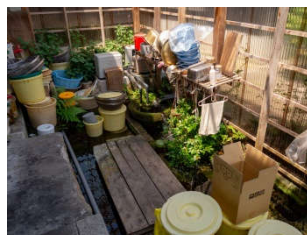


10時5分 白髭(しらひげ)神社到着。ここは全国の白髭神社の総本社で祭神は猿田彦命。湖面に浮かぶ鳥居の美しさに目を見張る。滞在時間5分少々と短かったが強く印象に残るものであった。



10時30分 針江到着。ガイドさんが2人ついたことより10名と9名の二組に分かれての分散見学となった。

針江では比良山系に降った雪、雨が伏流水となり各家庭から綺麗な水が湧き出ており、この湧き出る水のことを生水(しょうず)という。人々はこの自噴する水を飲料や炊事と言った日常生活に利用しておりこのシステムが川端(かばた)である。針江集落戸数170戸のうち110戸あまりで利用されているとのことで環境に優しい究極のエコシステムに感心した。



12時00分 次の目的地である高島市農業公園マキノピックランド向かう。

12時30分到着。ここは栗をはじめさまざまな果物狩りのできる観光果樹園となっており建物内はクーラーが程よく効いて快適に食事をする事ができた。



13時30分ピックランド出発。当初メタセコイアの並木道を散策する予定であったが暑さの為バスの車窓からの見物となったのは残念。この並木道は2.4kmに渡って約500本のメタセコイアが植えてあり人々の憩いの場所となっている。

13時40分～13時55分 ヨキトギ川周辺散策。



14時15分 丸子船の館到着。丸子船の最大の特徴は、丸太を二つ割りにした「おもぎ」の平面を内側にして舟の側面に巻いていること。琵琶湖特有の船で琵琶湖の最北、西浅井は北陸と京都・大阪をつなぐ重要な交通路として古くから人々の暮らしに関わっていた。大浦・菅浦・塩津浜の三つの港がある。隣接する大浦ふるさと資料館も併せて見学できた。

15時20分 帰路へ。途中、道の駅「藤樹の里あどがわ」で20分ほど休憩。

18時過ぎ 全員無事出発地点に戻る。(記録・写真 元田)